

令和2年度 町の森林環境譲与税の使途及び決算状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）			
意向調査の準備作業	森林環境譲与税活用事業	4,383	4,383	0	0	意向調査候補地を事前に森林境界調査を実施	境界の明確化（200ha）	<p>税導入により、森林境界調査が実施され、新たな森林管理システム運営協議会の活動や担い手育成の推進につながった。</p> <p>【詳細】 我が町の森林面積は約27,700ha、うち民有林は約24,300ha。森林率90%、人工林率36%。町全体の地積調査実施済み率は約25%である。森林所有者の世代交代や不在地主が増加したため、森林整備を推進し森林資源を有効活用するためには、まず第一に所有者境界調査が重要と考えている。次に林業担い手育成も重要であり、森林組合や林業事業体での大きな林業と、自伐林家での小さな林業がバランスよく森林整備を進めることを目指して、地域おこし協力隊制度を活用して担い手育成にも力を傾注している。</p> <p>結果、森林境界調査により3地区・200haが明確になり、森林組合や林業事業体を中心に今後の森林整備の基礎資料が整った。また、地域住民の自伐型林業では、スギ・ヒノキ間伐材194トンが出荷され、地域おこし協力隊は別途101m3の間伐材を搬出することができた。</p> <p>執行残額は、令和3年度の森林整備等、人材育成等、木材利用等の3分野でそれぞれ使用するため、基金に積み立てた。</p>
その他（森林整備）	森林環境譲与税活用事業	400	0	400	0	低コスト再造林促進機器導入事業（津和野町低コスト再造林促進機器等導入事業補助金）伐期を迎える山林が多数ある中、再造林にかかるコスト、労力の削減を目的として機器等の導入を検討している町内事業者に対して補助金を交付し再造林の低コスト化を図る。	苗木生産用コンテナ（40本×900コンテナ）	
担い手確保	森林環境譲与税活用事業	1,024	1,024	0	0	自伐型林業の実践者が間伐材搬出を実施するために必要な林業機械リース費用を支援	地域おこし協力隊（6人）と町内の自伐林家が使用 搬出材積301m ³	
担い手確保	森林環境譲与税活用事業	268	268	0	0	自伐（型）林業の実践者からの作業道開設や搬出間伐等の現場指導の要望に対して講師派遣を行う謝金	17回99人	
林道・林専道の整備等	森林環境譲与税活用事業	1,500	1,500	0	0	集約化施業に必要な林業専用道を県と協力して整備（測量設計費の町負担分）	測量設計1,000m（島直地奥山線）1/10負担	
基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税活用事業	3,000	3,000	0	0	集約化施業に必要な林業専用道を県と協力して整備（林道開設事業費の町負担分）	令和3年度へ繰越 県営林道整備事業費（島直地奥山線）1/10負担	
新たな組織の設立	森林環境譲与税活用事業	1,615	1,615	0	0	森林経営推進センターへの業務委託	運営協議会：1回 個別協議等：7回 研修会：2回	
その他（人材育成等）	森林環境譲与税活用事業	4,800	4,800	0	0	新規林業就業者への交付金 自伐型林業の新規就労者を支援する。	地域おこし協力隊卒業生：3人	
木質バイオマス利用推進	森林環境譲与税活用事業	354	354	0	0	原木・チップヤード施設建設にかかる諸費用（事業用定期借地権設定嘱託登記手数料、公正証書作成手数料他）	木質バイオマス利用促進諸費	
木質バイオマス利用推進	森林環境譲与税活用事業	2,536	0	2,536	0	原木・チップヤード施設建設にかかる諸費用（急傾斜地調査委託料、地質調査業務委託料、土地借上料、敷地整備費、借地にかかる公正証書作成手数料）	木質バイオマス利用促進諸費	
基金積立（森林整備等）	森林環境贈与税活用事業	12,140	12,140	0	0	基金積立分で後年度の森林整備や人材育成等を実施する計画である。 後年度の森林整備活動資金とするため基金として積立（現在、地域協議会内において、新植面積を増加させ資源を確保することが必要であると考え、植栽及び保育作業への補助金創設を検討中である。事業化については、令和3年度の事業化を目途に進めている）		
合 計		32,020	29,084	2,936	0			